# grepコマンド(その2)

**■引数にファイルは複数指定する**

grepコマンドの引数には対象となるファイルを複数指定できます。例えば、前述の「mail.txt」に加えて、名前と電話番号の組み合わせが記述された「tel.txt」というテキストファイルがあるとします。前述の「mail.txt」と「tel.txt」の2つのファイルから「sakura」を含む行を検索するには下記のように指定します。

|  |
| --- |
| [ec2-user@ip-172-31-8-35 ~]$ grep sakura mail.txt tel.txt  mail.txt:sakura Eto@example.com  tel.txt:07-11-34555 toru sakura  ↑  先頭にファイル名が表示される |

このように複数のファイルを指定した場合は最初にファイル名を表示してくれるので、どのファイルの行かが一目瞭然です。

**■ワイルドカードを使って検索する**

ファイルの指定には「\*」や「?」のようなワイルドカードが使えます。例えば、カレントディレクトリの拡張子が「.txt」の全てのファイルから「makoto」を含む行を検索するには下記のように指定します。

|  |
| --- |
| [ec2-user@ip-172-31-8-35 ~]$ grep makoto \*.txt  mail.txt:makoto@example.ne.jp  tel.txt:03-1111-40000 makoto otsu |

**■結果にファイル名を表示しない**

複数のファイル名を検索する場合に、結果にファイル名を表示しないでマッチした行のみ表示することも可能です。それには「-h」オプションを指定します。

|  |
| --- |
| [ec2-user@ip-172-31-8-35 ~]$ grep -h makoto \*.txt  makoto@example.ne.jp  03-1111-40000 makoto otsu |

**■いずれかの文字列を含む行を表示する**

前述までは見つける文字列を最初の引数で指定していました。grepコマンドは

「-e 【文字列】」という形式で検索文字列を指定することもできます。従って、次の2つのコマンドは同じ意味になります。

|  |
| --- |
| 1. 検索する文字列を直接指定   [ec2-user@ip-172-31-8-35 ~]$ grep makoto mail.txt   1. 検索する文字列を「-e」オプションを指定   [ec2-user@ip-172-31-8-35 ~]$grep –e makoto mail.txt |

grepコマンドでは、検索する文字列を複数する場合には、②の「-e 【文字列】」という形式を使用する必要があります。言い換えると、検索する文字列が一つの場合には「-e」を省略できると考えることもできます。この場合、「-e」オプションで指定した文字列のいずれかを含む行を表示します。指定方法は下記の通りです。

|  |
| --- |
| grep -e 【文字列1】 -e 【文字列2】 【ファイルパス】 |

例えば、「mail.txt」から「.com」と「.jp」のいずれかの文字列を含む行を表示するには下記のように指定します。

|  |
| --- |
| [ec2-user@ip-172-31-8-35 ~]$　grep –e .com –e .jp mail.txt  yuya@example.com  makoto@example.ne.jp  hiroshi Eto@example.co.jp  ogawa@example.co.jp  reika@example.com  sakura Eto@example.com  naoko@example.ne.jp  taro@example.ne.jp  yoshio eto@example.co.jp  hiroko@example.com |